

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています

1 デーリイマン6月号 デーリイマン社

①牛群間、個体間で繁殖成績に大きな差 極端に受胎が遅れる牛は早く受胎させる
酪農学園大学 堂地修 教授

繁殖成績の課題を牛群検定データのまとめから詳細に解説されています。

②適切なVWPで繁殖性を向上させる 初産で60日、2産以上80～90日が目安
農研機構北海道農業研究センター 山崎武志 主任研究員

空胎日数と305日乳量の関係を、全国の牛群検定記録から調査分析した結果を紹介！

2 全酪新報6月1日号 全国酪農協会

牛群検定ワンポイントレッスン その24 搾乳間隔

夜の搾乳と朝の搾乳の間隔は12時間が基本になります。牛群検定成績表でチェックしてみましょう！

3 酪農ジャーナル6月号 酪農学園大学エクステンションセンター

牛群検定だより(第15回)インターネットで繁殖台帳Webシステムを活用しよう
繁殖台帳Webシステムの概略を紹介しています。

4 L I A J ニュース5月号 (一社)家畜改良事業団

新しい牛群検定成績表について(その36)子牛は足りていますか?生産雌牛情報の活用
子牛は次代を担う後継牛です。何頭の子牛を生産すれば良いか、牛群検定成績から解説します。



ちょっと良い話、牛乳のバリアフリー！

「バリアフリー」最近よく耳にする言葉です。そう、駅前の歩道にある点字プレートや、駅構内のエスカレータなど体の不自由な人に対する配慮のことです。それと牛乳に何の関係があるかというところなんです！牛乳の紙パックはもう見慣れすぎて何とも感じないと思いますが、図のように切欠きがついていることをご存知でしたか？



これは、目の不自由な方々でも紙パックの牛乳を間違えないように平成13年から実施されているものです。JIS規格により、成分無調整100%牛乳にしか許されていないものです。目の不自由な方々へアンケート調査をしたところ、不便と感じる容器は?の設問に対し第1位が紙パック商品だったのです。そして、数ある紙パック商品の中でも何を知りたいか?という設問には、断トツの76.8%の方々が「牛乳」と答えました。このアンケートを受けて、実施されたのが図の紙パックの切欠きです。目の不自由な方々に圧倒的支援を受け、あらゆる食品の中で、唯一牛乳にだけ許されている目印と聞くと、スーパーに並んだ牛乳パックも、ちょっと誇らしげに見えます。ただ、残念なことに、この栄誉ある切欠きですが、実施するしないは「任意」となっていて、罰則があるわけではありません。みなさんが関係する牛乳も切欠きがついているか確認してみてください。完全実施を目指しましょう！(J-ミルク ウェブサイトから)

本年度もやります！検定試行(お試し検定)をどうぞご利用下さい！

家畜改良事業団では「乳用牛改良対策事業」により、牛群検定を半年間無料体験できるお試し検定を本年度も実施します。高乳量かつ高飼料効率が求められる現代酪農において、牛群検定は必須アイテムです。是非これを機会に、お知り合いの検定未加入の酪農家に一声かけてみてください。

新規加入農家には、牛群検定成績の利活用(入門編)を解説したビデオをDVDとテキストで配布しています。「利活用がよくわからない...」という方にも安心です。なお、ビデオはインターネットでも無料視聴できます。

<http://seo.lin.gr.jp/elearning/user.html>

畜産経営活性化

検索

また、有料になりますが、牛群検定活用の解説書「今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営！」が、デーリイジャパン社より2880円(税込み)で出版されています。書店でご注文頂るか、インターネットで購入できます。(デーリイジャパンオンラインショッピング、アマゾンなど)

梅雨本番！ジメジメした季節を乗り切ろう！

雨ばかりで気が滅入る季節ですが、乳房炎が増えてくる季節でもあります。検定成績表で体細胞数が増えるようでしたら、先ず、牛床を乾燥させるように通風に気をつけて下さい。送風扇も当然稼働させます。放牧を行っている場合、牛が雨で濡れて戻ってくることもあると思います。その時は乳房だけでなく牛体全体の雨水を良く拭き取り乾燥させてから搾乳をするようにして下さい。乳房の拭き取りだけでは背や腰の方から雨水が流れてくるからです。また、最近飼料中のカビが原因となるカビ毒も注目されています。カビをルーメンで分解するので牛はカビに強いと言う方もいますが、最近注目されている疾病です。子牛に限らずに下痢が多いようでしたら、飼料を点検すると同時に獣医師に相談してみてください。



蹄冠スコアと飛節スコアを活用しよう！

蹄冠スコアと飛節スコアは生産性とも関連性が強いことが知られています。図は、平成26年4月から平成27年3月までの1年間に報告があったものを集計しました。いずれの場合も蹄冠と飛節およびボディコンディションの各スコアを良好に保つことが、高乳量高品質および長命連産に強く影響することがわかります。(データ件数：蹄冠スコアと飛節スコア68万件、ボディコンディションスコア110万件 都府県)

- (1) 各スコア別平均乳量
蹄冠と飛節は、スコア1または2において、高い乳量を示されています。スコア3以降段階的に乳量が減少していることが読み取れます。治療が必要なレベルであるスコア5の乳量は明らかに低く、生産性に大きく影響しています。また、ボディコンディションスコアでは過肥の傾向が進むにつれて乳量が低下しています。
- (2) 各スコア別平均体細胞数
蹄冠と飛節は、スコア1または2において、体細胞数が低いことが示されています。以降、段階的に体細胞数が上昇していることが読み取れます。治療が必要なレベルであるスコア5では明らかに体細胞数が高く乳質に大きく影響しています。また、ボディコンディションスコアではスコア3.00が最も良好で過肥と消瘦ではどちらも体細胞数が高くなっています。
- (3) 産次別の「要注意」出現頻度
「要注意」として蹄冠と飛節はスコア3以上、ボディコンディションスコアは過肥に注目して3.50以上に定義づけた場合に各産次での出現頻度をグラフ化しました。いずれのスコアともに初産での「要注意」出現頻度は低いが、産次が進むにつれて頻度が増す傾向が見られます。前述のように各スコアとも生産性との関連性が高いことから、高能力を維持しながら長命連産を達成するには、蹄冠や飛節スコアおよびボディコンディションスコアを良好に保つことが大きなポイントとなることを示しています。このことは、管理面からみれば、精緻な飼料給与と優れたカウコンフォートが重要であると言い換えることもできます。

